2007.06 No.571

THE RECORD

Special Feature

貴重な歴史・文化の資産を保存するために

ISRCホームページをリニューアル

社団法人　日本レコード協会
RIAJ
Recording Industry Association of Japan

RIAJ Essay

向島・本所深川道案内

株式会社テイチクエンタテインメント
代表取締役社長 西山千秋



例えば、ある日の午後、向島百花園に立ってみる。それが初夏のころなら、そめいよしのの葉陰からサラサラと、足元のさくらそうに陽の光が…落ちてくる。今日はいい事がありそうだと歩き始める。白鬚神社で道中？の無事を祈願してスタート。「子育て地蔵」を左手に見て「鳩の街商店街」路地裏、一転長命寺あたりから墨堤散歩である。花の盛りも、もちろん良いが、この喧騒のない季節に葉桜並木も清々しくて心地良い。やがて左に牛島神社から隅田公園、吾妻橋を渡って浅草へ。お米倉跡から屋形船舫う柳橋、両国橋から本所、昔日の御竹倉の跡が今の国技館、鼠小僧の墓のある回向院、忠臣蔵ゆかりの吉良邸跡、勝海舟生誕の地など慌しく訪ねて堅川二之橋からいよいよ深川森下へ。交差点近くの店で、「たい焼き」一つを買って一服。芭蕉記念館を後にして南に下る道に銀杏並木、ソヨソヨと、あおい風が渡る。やがて小名木川に架かる萬年橋、橋北詰川船番所跡から清洲橋を眺めるのが秘密の名所である。広がる川面に青い吊橋が「ケルンの眺め」。清澄庭園を過ぎて門前仲町へ！深川不動堂から富岡八幡宮。八幡様の境内は、森の中でそこだけがぽっかりと明るい。祭囃子が降ってくるよな大神輿は圧巻だ。ゆっくり経めぐって4時間半の小江戸旅！一度、ゆっくり…如何ですか？



Contents

Special Feature
貴重な歴史・文化の資産を保存するために 2
RIAJ Report：レコード倫理審査会
「薬物の現場から」をテーマにした勉強会を開催 6
高宮 昇氏を偲ぶ 6
ISRCホームページをリニューアル 7
INFORMATION SQUARE 9
～親から子、子から孫へ～
「親子で歌いつごう日本の歌百選」CD発売 11
Monthly Production Report 12
ミュージック・ギフトカード「ミリオンアーティストカード」発売 13
Gold Album+...認定 14



貴重な歴史・文化の資産を保存するために

当協会など関連6団体で、歴史的音盤のアーカイブに着手



かつて音声の記録メディアとして重要な役割を担っていたSP盤レコードには、時代の世相を伝える音楽や、歴史の生きた証言ともいえる、さまざまな貴重な演説などが記録され、残されてきました。それら貴重な音源を、電子化して保存する取り組みがスタートしました。

日本放送協会、(社)日本音楽著作権協会、(社)日本芸能実演家団体協議会、(財)日本伝統文化振興財団、特定非営利活動法人映像産業振興機構および当協会の6団体は、「歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)」を設立しました。HiRACは、歴史的・文化的な資産である初期のレコード(SP盤)および原盤の劣化や散逸などによる音源喪失を防ぎ、広く国民に公開、伝承することを目的とします。対象は主に音楽・演説等で、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤および金属原盤に収録された約7万曲(音源)が見込まれています。

今回の特集では、HiRAC設立の背景や活動内容、今後のスケジュールとともに、対象となる貴重な音源の一部をリストアップし、紹介します。



(協力:シェルマン)

●「歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）」設立主旨

4月27日、日本放送協会（NHK）、社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）、社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、財団法人日本伝統文化振興財団、特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO）、社団法人日本レコード協会（RIAJ）の6団体は、歴史的・文化的資産である初期のレコード（SP盤）および金属原盤の劣化、散逸等による音源の喪失を防ぐため、「歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC※）」を設立しました。

かつて時代の世相を伝える録音メディアとして重要な役割を担っていたSP盤が、時代の経過とともに、昨今、散逸、消失したり、あるいは劣化し始めています。本協議会は、歴史的・文化的資産であるこれらの音源を保存し、広く国民に公開、伝承することで、日本の文化と音楽産業界の発展に寄与することを目的としています。対象としては、主に音楽、演説等の1900年初頭から1950年ごろまでに国内で製造されたSP盤および金属原盤に収録の約7万曲（音源）を見込んでいます。

また、本事業の企画、推進にあたっては、当協議会の中に主にアーカイブに関する収録技術、音声フォーマット等を検討する技術検討部会と主にアーカイブの利活用に関する運用ルールの策定等を検討する運用検討部会の2部会を設置します。

今後の予定は、今年度は音源の収録方法や公開方法の事前調査、検討を行い、平成20年度からメタデータの整備、音源のアーカイブを開始、平成22年度から、アーカイブの公開、利活用の準備、検討に入り、平成23年度からの公開を目指しています。

※HiRAC: Historical Records Archive Promotion Conference

●「歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）」設立記者会見より

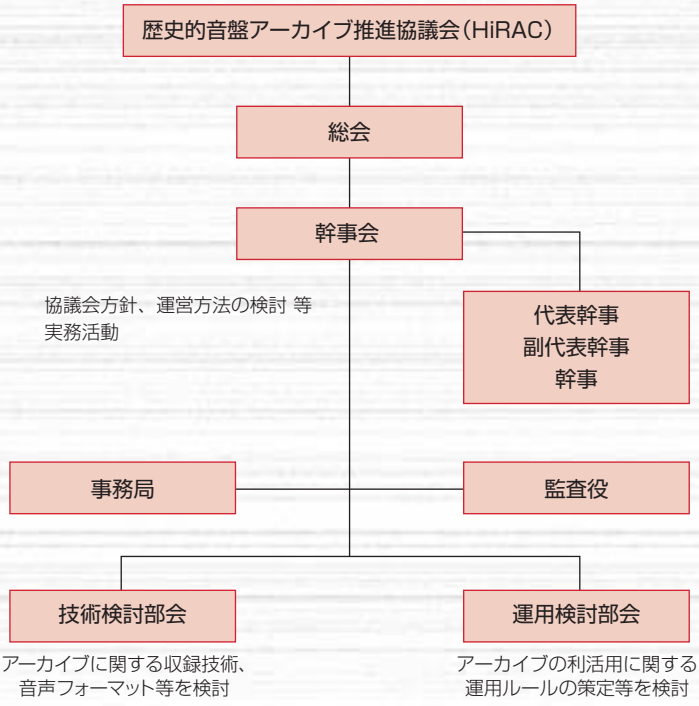
2007年4月27日は、SP盤の新しい歴史のスタートを宣言した日として、記録に残ることとなりました。この日、霞が関ビル33Fにある東海大学校友会館「三保の間」には、HiRAC設立を推進した6団体の関係者が集い、出席したメディア記者の方々に、設立主旨と、その歴史的な意義について語りました。

冒頭では、貴重な歴史的音盤の実際の音声や関連する画像・映像を編集したビデオを上映し、1943年当時の東条英機首相による「大東亜共同宣言」、1936年ベルリンオリンピック女子200m平泳ぎで優勝した前畑秀子選手の有名な「前畑ガンバレ」の実況録音などを紹介しました。

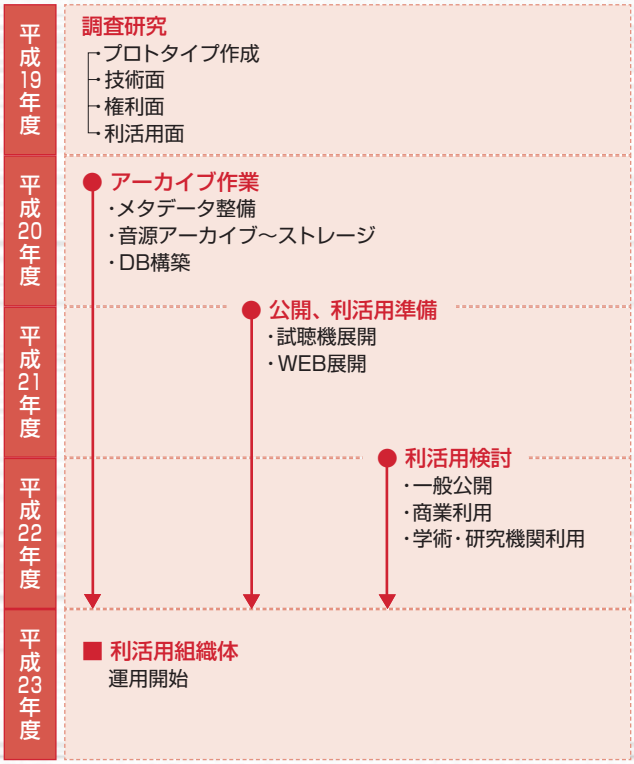
引き続いて、6団体関係者から、SP盤は音楽のみならず、さまざまな音声を記録するメディアとして広く活用されてきた歴史のあること、そのため非常に貴重な歴史の証言を含んでいること、しかし現在、こうした歴史的資産の散逸や劣化が起き、喪失の危機に瀕していること、アーカイブ化はまさに急務であることなどを述べました。

当日の発表は、各メディアの注目度も高く、新聞、雑誌、インターネットほか多種多様なメディアで大きく取り上げられました。

● 歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）組織体制



● 今後のスケジュール（参考）



「歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）」設立記者会見における団体代表のコメント（まとめ）

（敬称略）

HiRAC 代表幹事
（コロムビアミュージックエンタテインメント（株）代表執行役社長兼CEO）
廣瀬禎彦

「自社の工場でSP盤の整理を行ったところ、著名な詩人の朗読の録音盤が出てきました。息の長い、大変な作業ですが、宝探しのような楽しみもあります。多くの人に活用できる仕組みを整えて、使っていただけるようにしていきたいと考えています」

（社）日本音楽著作権協会 理事長
吉田 茂

「その時々の流行歌は、音楽の楽しさを伝えてきたと同時に、その当時の世相を表現するものです。貴重な音楽が散逸する危機が迫っていますが、歴史の闇に消えないように関係者が連携しなければなりません」

日本放送協会 専務理事 放送総局長
原田豊彦

「NHKでは、かつて放送内容をレコードに刻んで残してきており、歴史的に貴重な記録があります。協議会の活動によりクリアな状態で永久に保存されることは放送文化の発展にも意義深いことであり、積極的に協力していきたいと考えています」

（財）日本伝統文化振興財団 理事長
藤本 草

「大正から昭和にかけて、日本の音楽文化を築いた名人がたくさんいます。この取り組みを通じて、その人たちの貴重な音源資産を活用し、海外にも伝えられる道が広がったと期待しています」

（社）日本芸能実演家団体協議会 会長
野村 萬

「世阿弥が"命には終わりあり、能には果てあるべからず"と言ったように、伝統芸能の基本である肉体から肉体への伝承にも限界はあります。書物や音声の記録はその限界を超え、伝承の鏡として機能してほしいと思います」

特定非営利活動法人映像産業振興機構 事務局長
石川知春

「音楽以外にも放送で利用されたコンテンツなど、文化的に貴重なものはたくさんあります。この活動は、コンテンツを結び、残していく大本の活動になっていくでしょう」

（社）日本レコード協会 会長
佐藤 修

「SP盤の歴史は、音による近現代史です。SP盤は記録メディアとしていろいろな活用のされ方をし、本当に貴重な音源が残されてきました。しかし今、その歴史の資産を残せるかどうかのぎりぎりのところに立っています。気がついたら失われていた、ということにならないように、この活動を国家プロジェクト的なものとして育てていく考えです」



記者会見の様子



ベルリンオリンピック実況放送（前畑ガンバレ）のSP盤

●楽曲のリスト（抜粋）

タイトル	レーベル名	作詩者	作曲者	実演家	発売年
宣戦の大詔奉読	コロムビア			中村 茂	
ガダルカナル沖海戦 ー大本営発表ー	ニッチク				
山本元師の死を悼み日本国民に告ぐ（精神教育資料）	ニッチク			蘇峰、徳富猪一郎	
大東亜共同宣言	ニッチク			内閣総理大臣 東条英機	
青き花	ビクター	三木露風	増沢健美	藤原義江、マキシム・シャピロ	1930
（少年倶楽部掲載）ころび地蔵	キング	（原作）北村寿夫	（脚色・作曲）長谷山峻彦	長谷山雛菊音楽会員	1931
紀元二千六百年記念 日本万国博覧会行進曲	キング	日本万国博覧会	東京音楽学校	永田絃次郎、長門美保	1931
輝け五色旗	ビクター	土岐善麿	橋本国彦	藤原義江、日本ビクター管弦楽団	1939
幼児の時間　日本放送協会	コロムビア		山田耕筰		
（吹奏楽）紀元二千六百年	テイチク		森義八郎	帝国海軍軍楽隊	1940
海ゆかば（合唱付）	ニッチク			海軍軍楽隊、日本放送合唱団	
鐘の鳴る丘（第1編）「連続放送劇」より	コロムビア	菊田一夫	古関裕而	東京放送劇団、白鳩会	
お江戸日本橋	ビクター			ビクター合唱団、ビクターオーケストラ	1957
（行進曲）オリンピックの歌	テイチク		高田信一	テイチクオーケストラ	1952
アリラン	テイチク	大高ひさを		菅原都々子	
ああ忠臣蔵	東芝レコード	藤間哲郎	江口夜詩	高松和男、東芝男性合唱団	1959
皇太子さまおめでとう　歌唱伴奏用	東芝レコード			（監修）加藤正二、（隊長）小林美隆 武蔵野音楽大学鼓隊	1959



「鐘の鳴る丘」公開収録風景



東条英機 演説

写真提供：NHK

第2回RIAJセミナー

レコード倫理審査会「薬物の現場から」をテーマにした勉強会を開催

当協会は5月10日、レコード倫理審査会勉強会を東京・港区のPLAZA 246青山ビルにて開催しました。この勉強会は、会員社・委員を対象に責任ある作品作りに活かしてもらうことを目的に実施しています。今回は、レコード倫理審査会の学識経験者委員である作家の家田荘子先生を講師に迎え、60名以上の出席者がありました。

本コーナーでは、この勉強会の内容のダイジェストと、レコード倫理審査会の概況について紹介します。



子どもたちに「薬物はダメだ」というメッセージを発信してほしい

現在の日本では、安易に覚せい剤や錠剤型麻薬を手に入れることができます。早ければ、小学生のうちから麻薬に手を出す子どもがいるなど低年齢化が進んでいます。

そういう子どもたちが影響を受けるもののひとつとして、音楽の歌詞があります。アーティストが安易に歌詞の中に薬物を奨励するような歌詞を用いた場合、無知な子どもたちは「麻薬はやってもいいんだ」と間違ってとらえてしまう場合があります。そして、偶然、薬物に出会ってしまった時に手を出してしまうのです。

こうした状況を説明した上で、家田先生は「音楽が、特に若者の身近に溢れ、多大なる影響力を持つものだからこそ、アーティストに自らの歌詞が若者に与える影響力の大きさを再認識してもらいたい。薬物を取り上げることがダメなのではなく、取り上げるならば『薬物は絶対にダメだ』というメッセージを持って歌ってもらいたい」と何度も強く訴求されていました。

レコード倫理審査会の役割と概況

レコード倫理審査会は、レコード協会会員社から発売される邦楽歌詞すべてについて、差別や薬物関係などレコード制作者としての倫理に照らして問題となる表現はないか、という観点に立って検討を行っています。昨年は、審査対象作品9,374作品のうち96作品に問題指摘があり、そのうち薬物関連表現への指摘が最多となりました。

薬物関連表現に対する指摘はここ数年続いていますが、最近は、薬物そのものをメインに取り上げるというよりも、小道具的、語呂合わせなどで薬物を意味する言葉が使われる場合が多く見受けられます。レコード倫理審査会では、出てくる作品を審査することから一歩進めて、こういった作品が出てこないように、レコード制作者に薬物に対する問題意識を持っていただくことが必要だと考え、会員社の制作担当の方に広く呼びかけ、本セミナーを実施しました。

高宮 昇氏を偲ぶ

元東芝EMI株式会社会長の高宮昇氏が、4月16日にご逝去されました（享年91歳）。

同氏には、1983年から1986年まで当協会の会長としてご尽力いただきました。その後も、レコード産業の振興において多大な功績を残されました。

同氏を偲んで、元当協会会長小澤敏雄氏にご寄稿いただきました。



■ 高宮 昇元レコード協会会長を偲んで　小澤敏雄

高宮さんがレコード協会の会長に就かれた1983年は、もしその対処を誤ればレコード産業に大きな打撃を与える「貸レコード問題」という課題に直面していた激動の時でした。

1980年に端を発した「貸レ問題」は経済的な問題としてではなく、司法（レコード会社の提訴）・行政（文化庁）・立法（貸レ暫定措置法・著作権法）にわたって国の文化政策（著作権の本質）のあり方を問う問題であり、さらに全国レコード商組合連合会・（社）日本音楽著作権協会・（社）日本芸能実演家団体協議会等の諸団体がそれぞれの立場を超え一体となって音楽産業を守るために展開した、まさに未曾有の運動でありました。

この重要な時に高宮さんは、卓越せる指導力、本質を捉える識見、一字一句をゆるがせにしない真面目さをもって、協会を見事に運営されました。

東芝EMIの社長として会社の業績を大きく伸ばされたばかりではなく、業界のリーダーとして活躍された高宮さんの輝かしい足跡を私達は決して忘れることはないでしょう。

高宮さんのあの温顔を思い浮かべながら今は亡き大先輩のご冥福を心から祈ります。

小澤敏雄（おざわ としお：元（社）日本レコード協会会長／元（株）ソニー・ミュージックエンタテインメント会長）

ISRCホームページをリニューアル

2007年4月1日、ISRC受付センター（(株)ジャパンミュージックデータ内）は、申請者からの意見をまとめ、初めての方でも解りやすいサイトにするために「ISRC」のホームページをリニューアルしました。（http://isrcdb.jmd.ne.jp/）

このコーナーでは、リニューアルにあたり、ISRCの基礎知識からISRCサイトのリニューアルのポイントまでを解説します。

● ISRCとは？

「International Standard Recording Code」の略称で、「国際標準レコーディングコード」といいます。レコーディング（オーディオレコーディングおよび音楽ビデオレコーディング）の識別に利用される唯一の国際標準コードです。

ここで言う「レコーディング」とは「収録および編集の作業によって得られた成果」を指し、バージョン違い（リミックス）やタイム違いをはじめとする「視聴覚的に識別できるもの」は全て異なるレコーディングとして扱われます。

1つのレコーディングは1つのISRCによって識別されます。異なる複数のレコーディングに同一のISRCを付けたり、単一のレコーディングに複数のISRCを付けたりすることはできません。また、一度付番したISRCを変更することはできません。

● なぜISRCが作られたか？

ISRCの制定は1986年に遡ります。放送における音源の二次使用や、将来像として当時予見されていたコンピュータ・ネットワークのインフラの発達に備える目的で、音源の利用やそれに関する情報を有効かつ効率的に管理するために識別コードとして国際規格（ISO）化されました。

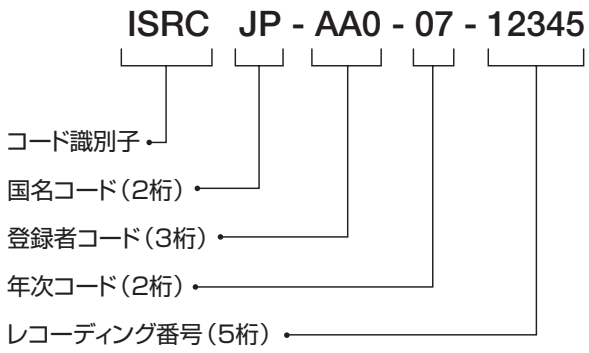
その後、世界レベルでは1991年からレコード会社による運用が始められており、現在にいたるまで、ISRCは様々な側面で権利管理上重要な役割を果たしています。日本でも、ネットワーク型の店頭試聴端末に提供される音源の管理や、音楽権利管理団体の間での情報統合等で主要なキーコードとして位置付けられており、今後更なる有効活用が図られる中でその重要性はますます高まっています。

● ISRCのメリットとは？

ISRCは、音源の識別コードとして利用されている唯一の国際標準コードで、レコード業界におけるデータベースを繋ぐ1つのキーとして利用されています。また、配信事業者によっては、レコーディング識別に利用されています。電子的著作権管理システムやデジタル権利管理システム（DRM）において、ISRCの利用は増加しており、今後、放送二次使用料の分配の際に、権利者を特定するためのキーとして利用される予定です。

● ISRCの構成は？

ISRCは、12桁の英数字で構成されます。



※ISRCを印刷物等によって視覚的に表すときは、冒頭にコード識別子“ISRC”の文字をつけ、続いてISRCの4つの要素を相互にハイフン（-）で区切って記述しなければなりませんが、CDやDVDなどにISRCをエンコードするときは、ハイフン（-）は入力しません。

● これまでの個別ISRC申請状況は？

2004年6月より登録者コードに加え、個別ISRC（年間のレコーディング数が限られている製作者用）の登録を開始しました。スタート当初は、平均すると月5件、50レコーディング程度の申請だったものが、昨今、音楽配信楽曲の増加により、現在はおよそ月100件、800レコーディングが申請されています（図1参照）。また、ISRC受付センターには月500件ほどの問い合わせがありましたが、ホームページのリニューアル後は300件に減少し、ユーザーからも大変解りやすいと好評です。

● リニューアルのポイントは？

今回の主なリニューアルのポイントは、以下のとおりです。

①「登録者コード」と「個別ISRC」の違いを トップページにビジュアルで説明。

ISRCというコードの存在を初めて知った方が最初に行うことは、「登録者コード」と「個別ISRC」の選択です。どちらを取得すればよいのかをYES / NO形式で選択することができます（図2［a］）。

②申請の流れを図解

申請書の作成からISRCの発番までの流れを所要日数も含めて図で解説しました。

③よくある問い合わせをFAQページに掲載

新規申請者、既登録者から寄せられた過去1年間の問い合わせを項目ごとに分類し、Q&A形式で閲覧することが可能となりました。なお、新たな問い合わせは逐一追加更新していきます。

④個別ISRC新規申請をWEB申請に変更

リニューアル後は、WEB画面には記載例の表示や入力チェック機能も付加されているので、記載ミスがなくなりスムーズな申請が可能となりました。また申請から発番までの期間も短縮されました（図2［b］）。

⑤レコーディング情報をWEB申請に変更

WEB申請機能の追加とともに新規追加しました。

レコーディング情報WEB申請画面には、記載例の表示や、直前の楽曲の権利情報コピー機能が搭載されているため、PC操作が苦手な方も簡単に作成することが可能となりました（図2［c］）。

● 今後の展開は？

今回のリニューアルでは申請が激増している「個別ISRC」に的を絞りましたが、今後はメタデータ報告の簡便化等、「登録者コード」についても改善していきたいと考えています。

以上

図1「個別ISRC」申請件数・付番曲数 推移

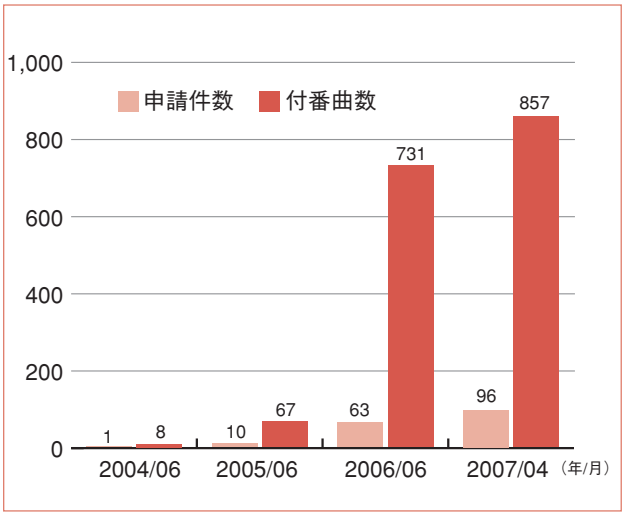


図2「ISRCホームページ画面」



［a］「登録者コード」と「個別ISRC」の違い



［b］「個別ISRC」WEB申請フォーム



［c］「レコーディング情報」WEB申請フォーム

INFORMATION SQUARE

携帯電話向けの音楽の違法配信で、初の逮捕者

5月14日、山口県警察本部生活安全部および岩国警察署は、携帯電話向けの音楽の違法配信で、山口県岩国市在住の25歳男性宅を著作権法における著作隣接権侵害にあたるとして家宅捜索し、同日逮捕しました。

この25歳男性は、2006年5月から携帯電話向けに音楽ファイルを無料でダウンロードできるレンタル掲示板を開設･運営し、自らも権利者に無断でEvery Little Thingや倖田來未などの楽曲を多数アップロードして、不特定多数がダウンロードできる状態にしていたものです。

今回の件は、このような一連の違法対策活動が実を結んだ結果です。また、違法な携帯向けの着うた(R)等の音楽配信による逮捕は今回が初めてで、大変画期的なものといえます。

「音楽文化振興議員懇談会」総会で、歴史的音盤のアーカイブ化について説明

5月22日、東京都千代田区の自由民主党本部にて、「音楽文化振興議員懇談会」総会が、音楽関係10団体代表らの参加を得て行われました。

当協会からは佐藤会長が「歴史的音盤のアーカイブ」が急務であることについて説明し、議員の先生方のご理解とご支援をお願いしました。詳細は、次号7月号に掲載します。



総会の様子

IFPI中央理事会開催

5月9日、ドイツ･ベルリンにて、IFPI中央理事会が開催されました。

中央理事会は毎年2回開催され、IFPIケネディ会長を議長とし、各メジャーの代表、インディーズ代表、RIAA、主要地域のナショナルグループ代表等によって構成されています。当協会からは佐藤会長と法務部の畑副部長が出席しました。

会議では、海賊版やオンライン上の違法対策、米国による中国WTO提訴、レコード保護期間延長、DRM間の互換性等に関する議論が行われたほか、IMPALA(インディーズの国際的団体)の代表を招き、私的録音補償金に関する考え方について意見交換が行われました。また、IFPIの新しいロゴの採用も決議されました。

当協会からは、今年度の重点施策、モバイル向け違法音楽配信対策、政府審議会における著作権法30条の見直しや保護期間延長の取り組み状況等を佐藤会長が報告しました。

IFPI 国際演奏権委員会開催

5月4日から5日にかけて、アメリカ･ワシントンD.C.にて、IFPIの国際演奏権委員会が開催され、当協会法務部の畑副部長と苅部係長が出席しました。

同委員会では、世界各国のレコード使用料徴収団体が一堂に会し、2006年度の使用料徴収実績、ウェブキャスト法定許諾料に関する本年3月のアメリカ著作権使用料審判所決定、放送番組のオンデマンド送信に関するIFPIの新相互協定の制定等について、内容の報告と今後の取り組みに関する意見交換が行われました。

慶應義塾大学アートセンター、RIAJ共催 公開シンポジウム「日本の知的財産戦略」開催



シンポジウムの様子

5月17日、東京都港区の慶応義塾大学三田キャンパスにて、今年度から設置された寄付講座を記念し、慶應義塾大学アートセンター、当協会共催で公開シンポジウム「日本の知的財産戦略」を開催しました。このシンポジウムには、内閣官房知的財産戦略推進事務局参事官補佐の大塚祐也氏と弁護士、中央大学法科大学院客員教授、特定非営利活動法人エンターテインメント･ロイヤーズ･ネットワーク専務理事の松田政行氏が参加し、慶應義塾大学デジ

タル･メディア･コンテンツ統合研究機構准教授の金正勲氏の司会により進められました。

シンポジウム中、現在はデジタル技術と通信技術の進歩によって大きく社会構造が変化している大変革期にあること、この変革の波に飲まれることなく、日本がクリエイティブ産業で世界をリードするためには、何を目指すべきか、何を行わなくてはならないかについて具体例を交えながら提言がなされ、内容の濃い議論となりました。

「日本のレコード産業2007」英語版発行

当協会は、「日本のレコード産業2007」の英語版を発行しました。これは、2006年のレコード産業の概要を網羅したA4版ページの小冊子です。

日本語版、英語版ともに当協会ホームページでもPDF版がご覧いただけますので、ご活用下さい。



http://www.riaj.or.jp/release/2007/pr070521.html

理事会・総会開催

5月25日、東京都千代田区のグランドプリンスホテル赤坂において、当協会は第400回通常理事会および第123回通常総会を開催し、平成18年度事業報告書および決算報告書が承認されました。事業報告の詳細につきましては、来月号に掲載します。

役員人事

■新任

理事　気賀純夫（6月1日付）
[ジェネオン エンタテインメント株式会社 代表取締役社長]

監事　長谷川彰介（6月1日付）
[株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ 代表取締役社長]

監事　高久光雄（6月1日付）
[株式会社ドリーミュージック・ 代表取締役社長兼CEO]

■退任

理事　細川 健（4月30日付）
[株式会社プライエイド・レコーズ 代表取締役社長]

監事　気賀純夫（5月31日付）
[ジェネオン エンタテインメント株式会社 代表取締役社長]

監事　大木 舜（5月23日付）
[株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ 前代表取締役社長]

新会員社加盟のお知らせ

■新入会

（5月1日付）
社名：株式会社アール･アンド･シー（正会員）
代表：代表取締役社長　橋爪健康
住所：〒101-0051東京都千代田区神田神保町1-14
タイセイ吉本ビル3階
TEL：03-5217-6000

（6月1日付）
社名：バウンディ株式会社（準会員）
代表：代表取締役社長　清水英明
住所：〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-6-3　清水ビル2階
TEL：03-5766-1774

会員社のお知らせ

■会員資格変更

社名：株式会社プライエイド･レコーズ（6月1日付）
正会員から準会員に変更。

当協会事務局人事

（6月1日付）

総務部課長補佐	宮島敏男（前：総務部係長）
法務部課長補佐	苅部好雄（前：法務部係長）
業務部係長	渡部智子（前：業務部）
情報・技術部係長	丹野祐子（前：情報・技術部）

INFORMATION SQUARE

5月1日付で新入会しました(株)アール・アンド・シーの橋爪健康代表取締役社長より挨拶文が寄せられました。

入会のご挨拶

株式会社アール・アンド・シーは社名のとおり、レコードとデジタルコンテンツを中心としたエンターテインメントコンテンツの将来を考える会社です。

我々は、吉本興業のソフト資源を基本に健全で着実な成長を続けてきました。特に、映像分野において「お笑い&バラエティ」というジャンルを確立してきたと自負しております。しかしながら、エンターテインメント業界をトータル的に俯瞰すれば、通信技術の進歩と相まって明らかに構造転換の時期に入っており、たどり行く先は縮小均衡でしかないことを痛感します。

我々はインディペンデントならではの小回りのきく特性を生かしながら、日本の音楽資源・映像資源を開発していくための試金石と成り得ることを目指して頑張っていきたいと思います。

株式会社アール・アンド・シー
代表取締役社長　橋爪健康

2007年5月会議メモ

5・8	法制委員会
5・9	マーケティング委員会
5・10	レコード倫理審査会
5・15	広報委員会
5・18	執行委員会
5・25	理事会
5・30	日本ゴールドディスク大賞委員会

～親から子、子から孫へ～
「親子で歌いつごう日本の歌百選」CD発売

5月23日、「親子で歌いつごう日本の歌百選」がコロムビアミュージックエンタテインメント(株)より発売されました。

「日本の歌百選」は、河合隼雄元文化庁長官が「歌を通じて家族のきずなを確かめるきっかけに」と発案したものです。それを「親子で歌いつごう日本の歌百選」として文化庁・(社)日本PTA全国協議会が主催、当協会協賛し、昨年の9月から11月にかけてはがきや電子メールなどで公募。計6,671通、895曲の中から、今年の1月15日に選考委員会によって検討され、その結果100曲には絞り切れず、最終的に101曲が選ばれました。

この「日本の歌百選」の5枚組CDは、選定された全101曲が収録されたものです。収録曲に関して、歌謡曲や童謡・唱歌については、オリジナル歌手の音源やオリジナルアレンジに近い音源をできる限り収録しています。また、わらべ歌については、わかりやすいアレンジの音源を収録しています。

同5月には、文化庁が「音楽の副教材として学校現場でも活用してもらいたい」ということで、東京書籍より楽譜集も発売されます。

内訳：童謡＝37曲、こどものうた・あそびうた・わらべうた＝7曲、
唱歌＝23曲、叙情歌＝16曲、歌謡曲＝18曲



COCP－34320～24／5枚組／￥4,725(税込)
101曲／歌詞、解説付／箱組みセット(夫婦箱)

2007年4月度レコード生産実績

4月度の音楽ソフト（オーディオレコード･音楽ビデオの合計）生産実績は、数量、金額ともに前年同月を上回り、数量で前年同月比114%の2,289万枚･巻、金額で同105%の254億円となりました。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比108%の1,958万枚･巻、金額で同106%の223億円となりました。また、音楽ビデオは、数量で前年同月比166%の331万枚･巻、金額で同98%の30億円となりました。

● オーディオレコード

（数量:千枚･巻／金額:百万円）

			4月実績						2007年1月～2007年4月累計					
			数　量	構成比	前年同月比	金　額	構成比	前年同月比	数　量	構成比	前年同期比	金　額	構成比	前年同期比
シングル	8cmCD	邦	19	0	58%	10	0	55%	83	0	17%	41	0	57%
		洋	0	0	7%	0	0	12%	106	0	490%	17	0	183%
		計	19	0	52%	10	0	51%	190	0	37%	58	0	72%
	12cmCD	邦	5,041	26	110%	3,874	17	107%	20,719	23	95%	15,363	14	94%
		洋	100	1	235%	29	0	117%	185	0	197%	103	0	173%
		計	5,141	26	112%	3,904	17	107%	20,904	24	95%	15,466	14	95%
	小計	邦	5,060	26	110%	3,884	17	107%	20,802	23	93%	15,404	14	94%
		洋	100	1	214%	29	0	111%	291	0	252%	120	0	174%
		計	5,160	26	111%	3,913	18	107%	21,094	24	94%	15,524	14	95%
12cmCD アルバム		邦	8,860	45	115%	11,548	52	107%	44,174	50	99%	65,140	61	98%
		洋	5,070	26	99%	6,437	29	104%	21,180	24	82%	24,456	23	89%
		計	13,929	71	109%	17,985	80	106%	65,354	74	93%	89,596	84	96%
CD 合計		邦	13,920	71	113%	15,432	69	107%	64,976	73	97%	80,544	75	98%
		洋	5,170	26	100%	6,466	29	104%	21,472	24	83%	24,576	23	89%
		計	19,090	98	109%	21,898	98	106%	86,448	97	93%	105,120	98	95%
アナログディスク		邦	17	0	104%	19	0	70%	59	0	102%	95	0	131%
		洋	7	0	135%	10	0	125%	25	0	100%	44	0	161%
		計	24	0	111%	29	0	83%	84	0	101%	139	0	139%
カセットテープ		邦	404	2	63%	336	2	68%	2,069	2	87%	1,588	1	82%
		洋	0	0	5%	0	0	8%	1	0	46%	1	0	41%
		計	404	2	63%	336	2	68%	2,071	2	87%	1,589	1	82%
その他		邦	49	0	1144%	63	0	930%	145	0	295%	283	0	313%
		洋	11	0	75%	21	0	76%	60	0	123%	106	0	119%
		計	60	0	315%	85	0	243%	205	0	210%	389	0	217%
合　計		邦	14,390	74	111%	15,851	71	106%	67,250	76	97%	82,511	77	98%
		洋	5,188	26	100%	6,498	29	104%	21,558	24	83%	24,726	23	89%
		計	19,578	100	108%	22,349	100	106%	88,807	100	93%	107,237	100	95%

● 音楽ビデオ

		4月実績						2007年1月～2007年4月累計					
		数　量	構成比	前年同月比	金　額	構成比	前年同月比	数　量	構成比	前年同期比	金　額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,029	91	182%	2,598	86	103%	17,775	92	119%	15,857	88	101%
	洋	264	8	102%	391	13	90%	1,282	7	91%	1,904	11	85%
	計	3,293	99	171%	2,988	99	101%	19,057	99	117%	17,761	99	99%
テープ･LDその他		21	1	30%	34	1	27%	186	1	75%	222	1	55%
合　計	邦	3,050	92	176%	2,632	87	99%	17,892	93	118%	16,058	89	100%
	洋	264	8	102%	391	13	90%	1,351	7	95%	1,925	11	86%
	計	3,314	100	166%	3,023	100	98%	19,243	100	116%	17,984	100	98%

● 音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ合計）

	4月実績						2007年1月～2007年4月累計					
	数　量	構成比	前年同月比	金　額	構成比	前年同月比	数　量	構成比	前年同期比	金　額	構成比	前年同期比
オーディオ	19,578	86	108%	22,349	88	106%	88,807	82	93%	107,237	86	95%
音楽ビデオ	3,314	14	166%	3,023	12	98%	19,243	18	116%	17,984	14	98%
合　計	22,892	100	114%	25,372	100	105%	108,050	100	96%	125,221	100	96%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	4月実績						2007年1月～2007年4月累計					
	数　量	構成比	前年同月比	金　額	構成比	前年同月比	数　量	構成比	前年同期比	金　額	構成比	前年同期比
DVD	6,825	99	104%	12,832	99	77%	34,942	99	92%	58,807	99	99%
テープ･LDその他	41	1	28%	82	1	21%	297	1	51%	486	1	35%
合　計	6,866	100	102%	12,914	100	76%	35,238	100	92%	59,293	100	98%

● オーディオ／ビデオ合計

	4月実績						2007年1月～2007年4月累計					
	数　量	構成比	前年同月比	金　額	構成比	前年同月比	数　量	構成比	前年同期比	金　額	構成比	前年同期比
オーディオ	19,578	74	108%	22,349	63	106%	88,807	72	93%	107,237	64	95%
ビデオ	6,866	26	102%	12,914	37	76%	35,238	28	92%	59,293	36	98%
合　計	26,444	100	106%	35,263	100	92%	124,046	100	93%	166,530	100	96%

備考　1. 上記実績は、会員会社「44社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

ミュージック・ギフトカード「ミリオンアーティストカード」発売

（株）ジャパン・ミュージック・ギフトカード

全国共通商品券「ミュージック・ギフトカード」を発行している（株）ジャパン・ミュージック・ギフトカードでは、日本ゴールドディスク大賞を記念して、毎年「ミリオンアーティストカード」（カードタイプ・1,000円券）を発売しています。

この「ミリオンアーティストカード」は日ごろから応援してくださるファンの皆さまへの感謝と、音楽・映像ソフトの需要拡大を目的に、アーティスト・レコードメーカー各位のご協力のもと、1997年の第11回日本ゴールドディスク大賞から発売を開始したものです。

今年も、第21回日本ゴールドディスク大賞の大賞受賞者である倖田來未をはじめ、各賞の受賞を記念した「ミリオンアーティストカード」を6月6日より限定発売中です。

このカードは、レギュラーカード同様全国のミュージック・ギフトカード取り扱いCDショップ・楽器店でご購入いただけます。

●第21回日本ゴールドディスク大賞受賞記念
「ミリオンアーティストカード」

発売日：　2007年6月6日（限定発売）
販売価格：1,000円（非課税）
特別仕様：① ミュージックギフトカード￥1,000券　② 手元に残るプレミアムカード　③ アーティスト写真の入った特製台紙



2006年1月度認定
浜崎あゆみ 「(miss) understood」



2006年3月度認定
倖田來未 「BEST～second session～」



2006年7月度認定
宇多田ヒカル 「ULTRA BLUE」



2006年10月度認定
コブクロ 「ALL SINGLES BEST」



2006年12月度認定
絢香 「First Message」



2006年12月度認定
倖田來未 「Black Cherry」

Gold Album +... 認定

2007年4月度

音楽ソフト

■ 邦 楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

cartoon KAT-TUN II You	KAT-TUN	2007.04.18	JA
CAN'T BUY MY LOVE	YUI	2007.04.04	SR

● プラチナ

COSMICOLOR	m-flo	2007.03.28	AM
FROM ME TO YOU	YUI	2006.02.22	SR

● ゴールド

Neo Africa Rainbow Ax	ENDLICHERI☆ENDLICHERI	2007.04.11	JE
嬉々	柴咲コウ	2007.04.25	UM
×～ダメ～／Crazy Rainbow	タッキー＆翼	2007.04.18	AM
Sweet Impact	BoA	2007.04.25	AM
FAMILIA	HOME MADE 家族	2007.03.14	KS

シングル

● プラチナ

ズッコケ男道	関ジャニ∞	2007.04.11	TE
BRAND NEW SONG	KinKi Kids	2007.04.25	JE

● ゴールド

FUNKY TOWN	安室奈美恵	2007.04.04	AM
We can make it !	嵐	2007.05.02	JA
Awaking Emotion 8/5／my brand new way	ウェンツ瑛士／小池徹平	2007.04.25	UM
たしかなこと	小田和正	2005.05.25	BMG
イカSUMMER	ORANGE RANGE	2007.04.25	SR
鼓動	GLAY	2007.04.04	TO
トレイン	ケツメイシ	2007.04.11	VAP
ルキンフォー	スピッツ	2007.04.18	UM
東京にもあったんだ／無敵のキミ	福山雅治	2007.04.11	UM

ビデオ

● プラチナ

Live of KAT-TUN "Real Face"	KAT-TUN	2007.04.11	JA

■ 洋 楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

ベスト・ダム・シング	アヴリル・ラヴィーン	2007.04.18	BMG

● ゴールド

どこかで聴いたクラシック　ベスト101	V.A.	2005.08.24	UM
コステロ・ミュージック	ザ・フラテリス	2007.03.07	UM
ビコーズ・オブ・ユー	Ne-Yo	2007.04.25	UM

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位： 音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI：ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ／AM：エイベックス・マーケティング／BG：ビーグラムレコーズ／BM：バーミリオンレコード／BMG：BMG JAPAN／C：コロムビアミュージックエンタテインメント／CR：日本クラウン／DF：デフスターレコーズ／DRM：ドリーミュージック／EP：アップフロントワークス(ゼティマレーベル)／ES：EPICレコードジャパン／FK：ファイブズエンタテイメント／FL：フォーライフミュージックエンタテイメント／GN：ジェネオン エンタテインメント／GZ：ギザ／HSE：Hostess Entertainment Unlimited／HY：東屋慶名建設／JA：ジェイ・ストーム／JE：ジャニーズ・エンタテイメント／JK：ユナイテッド・アジアエンターティメント／K：キングレコード／KS：キューンレコード／MC：ミューチャー・コミュニケーションズ／MH：ソニー・ミュージックダイレクト／ON：ビーヴィジョン／PAR：プライエイド・レコーズ／PC：ポニーキャニオン／PK：ピッコロタウン／PZ：ビザ・オブ・デス・レコーズ／QQ：パームビーチ／RR：ロードランナー・ジャパン／SE：エスエムイーレコーズ／SI：ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル／SM：ミュージックレイン／SN：SENHA & CO./SR：ソニー・ミュージックレコーズ／SV：アニプレックス／TE：テイチクエンタテインメント／TF：トイズファクトリー／TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ／TO：東芝EMI／UM：ユニバーサルミュージック／V：ビクターエンタテインメント／WJ：ワーナーミュージック・ジャパン／XL：アンリミテッドグループ／YR：アール・アンド・シー

有料音楽配信(「着うた(R)」他)

■「着うた(R)」

● 2ミリオン

蕾(つぼみ)	コブクロ	2007.01.08	WJ

● ミリオン

Flavor Of Life	宇多田ヒカル	2007.02.19	TO

● トリプル・プラチナ

ルーズ・ユアセルフ	エミネム	2003.05.21	UM

● ダブル・プラチナ

CHE.R.RY	YUI	2007.03.07	SR

■「着うたフル(R)」

● ダブル・プラチナ

千の夜をこえて	Aqua Timez	2006.11.22	ES
Flavor Of Life -Ballad Version-	宇多田ヒカル	2007.02.28	TO

● プラチナ

CHE.R.RY	YUI	2007.03.08	SR

● ゴールド

WINDING ROAD	絢香×コブクロ	2007.04.04	WJ
I'm Here	伊藤由奈	2007.03.14	SR
Passion	宇多田ヒカル	2005.12.14	TO
蕾(つぼみ)	コブクロ	2007.04.18	WJ
ひと恋めぐり	柴咲コウ	2007.03.28	UM
ガラナ	スキマスイッチ	2006.09.08	BMG
secret base ～君がくれたもの～	ZONE	2005.04.13	SR
大阪LOVER	DREAMS COME TRUE	2007.03.21	UM
RESISTANCE	中島美嘉	2006.01.11	AI
素直なまま	中島美嘉	2007.02.17	AI
茜空	レミオロメン	2007.03.20	V

■ PC配信(シングル)

● ゴールド

三日月	絢香	2006.09.27	WJ
Flavor Of Life -Ballad Version-	宇多田ヒカル	2007.02.28	TO

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

本文中でもお知らせしましたが、(株)ジャパン･ミュージック･ギフトカードより第21回日本ゴールドディスク大賞を記念して、アーティストやレコードメーカー協力のもと、「ミリオンアーティストカード」を6月6日より発売中です。このカードは、全国のミュージック･ギフトカード取り扱いCDショップ･楽器店で購入できます。



Respect our MUSIC
http://www.rom-m.jp/

THE RECORD No.571　2007年6月号
社団法人 日本レコード協会　機関誌

発 行 人　佐藤　修
編 集 人　田辺　攻
発 行 日　2007年6月10日
発　　行　社団法人　日本レコード協会
〒107-0061　東京都港区北青山2-12-16　北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代)　FAX. 03-6406-0520(代)
URL: http://www.riaj.or.jp/

制作協力　株式会社エフビーアイ･コミュニケーションズ

編集後記

春や秋になると、当協会にも修学旅行生が企業訪問として度々訪れます。音楽が好きな学生さんが多く、音楽創造のサイクルや著作権のことを説明すると真剣な眼差しで聞き入り、積極的に質問がでてきます。若年層といわれるこの年代のうちに、著作権に関する知識を少しでも知ることにより、今後音楽や映像を楽しむ際のモラルを自然に身につけていってもらえたらと思います。

(T)